

Angie Zelter, “Activism for Life” 内容紹介

1章 カメルーンから持続可能な暮らし方、そしてグリーンナムへ／2章 グリーンナムを自宅へ、そしてスノーボール運動

女性だけで米軍基地への侵入を繰り返し、ついには閉鎖に追い込んだ「グリーンナムコモン」運動に始まり、それをそれぞれの地元での反基地運動に拡大した1984年からの「スノーボール」運動へ。全ヨーロッパで同様の運動が盛り上がり、ついには中距離核（INF）を全廃する条約が米ソの間で締結された。



最初のスノーボール運動のフェンス切断、1984年10月。

3章 英国から海外へ、抵抗のネットワークを広げる

1991年、マレーシアのサラワクで森林乱伐防止活動を国際チームで実施。伐採木材を積んだバージを占拠し、逮捕、2週間の拘留。本国に戻ると、この「違法に伐採され輸入された」木材を使った商品に対する「倫理的万引き」、つまり商店から品物を取って警察にどどける活動を開始。「市民による先住民の盗品回収組織-CRISPO」と称する。

4章 アクションの支援と準備

インドネシアに輸出直前のジェット戦闘爆撃機は、東チモール住民の虐殺に使われることが明白だった。これを止める合法手段が尽きた後、1996年1月29日、格納庫に侵入して家庭用のハンマーで「非武器化」を敢行した。陪審員裁判で無罪が確定。

5章 誰でも使える国際法を目指す／6章 法律に則った異議申し立て

英国の核ミサイル原潜「トライデント」に対する非武器化行動と基地撤去キャンペーン。国際司法裁判所の「核兵器は一般的に違法」とする1996年の「勧告的意見」に啓発され、良心や道徳だけでなく、国際法をベースにした運動を進める。1999年6月、アンジーを含む3人の女性がゴイル湖の原潜試験施設「メイタイム」の内部の機器を破壊した。これまた無罪判決。判決の翌年の2001年には「もう一つのノーベル賞」と言われるライト・ライブリフッド賞を受賞する。



「非武器化」した原潜試験施設に飾られた横断幕。1999年6月8日

7章 国際連帯／8章 世界中で抵抗は続く

ヨルダン川西岸でのパレスチナ人の同伴活動などを行う「国際女性平和奉仕活動」、韓国・チェジュ島での軍港建設反対行動のことが書かれている。

9章 終わりなき闘争

ロンドンの西50キロにあるオルダーマストーン核兵器工場に対する直接行動、トライデントに対する公益訴訟など。ウェールズでは”Wool against Weapon”と称する祝祭的なイベントも。

10章 警察、刑務所、温泉

英国だけでなく外国の留置場や監獄の経験、それらの実態、改善要求その成果が書かれている。

11章 みんなの地球、みんなの闘争

気候危機に対する取り組み。80年代からの森林保護やCO2削減の取り組みから、最新の「絶滅への叛逆と平和」（Extinction Rebellion Peace）の取り組みまで。



ウェールズ・ナイトンでの「ウール・アゲインスト・ウェポン-武器に対抗する毛糸」アクション,2014年7月